

習志野市障がい者地域共生協議会 ならとも



未来のために～みんながやさしさでつながるまち～習志野

障がいのある人もない人も習志野で共にはたらくことを目指す広報紙「ならたく」ですが、令和5年度より名称を「ならとも」に変更し、地域共生社会を目指すためのテーマを障がい全体に広げて取り上げていきます。

習志野市では、「習志野市障がい者地域共生協議会」内に、「重症心身障がい児者・医療的ケア児者等支援部会」を設置し、様々な取り組みを進めています。

部会名にある「重症心身障がい児者・医療的ケア児者」という名称は、普段聞き慣れない言葉であるかもしれませんが。こういった方々のことでしょうか。



たん等の吸引

・重症心身障がい児者とは・・・重度の肢体不自由（立位姿勢がとれない運動機能障がい）と重度の知的障がいを併せ持つ方々のことです。

・医療的ケア児者とは・・・生きていくために、日常的に人工呼吸器による呼吸管理、たんの吸引その他の医療行為などが必要な方々のことです。

人工呼吸器



3月号では、「重症心身障がい児者・医療的ケア児者等支援部会」で取り組んでいることのうち、「ならとも避難ぷらん」と「共生型サービス」の2点についてご紹介します。



「ならとも避難ぷらん」の策定を進めています。



停電が命に関わる方たちの電源確保にご理解とご協力を！

病気や重度の障がいにより、日常的に人工呼吸器やたんの吸引器、酸素濃縮器などの医療機器を使用する方たちは、災害時の停電により、命の危険に晒されることがあります。しかし、家族が医療的ケアを行えるため、電源とスペースがあれば、医療機関でなくても命を救うことができます。

当部会ではこのような重症心身障がい児者や医療的ケア児者が、災害時に電源を確保して安心して避難できるよう、個別避難計画「ならとも避難ぷらん」の策定を進めています。

「ならとも避難ぷらん」は、表面にご本人の状況と、必要な支援を記載します。裏面には避難先候補として、非常電源を備えた学校や福祉施設などを記載します。安全に避難できるよう、ご本人やご家族、避難先施設、そして避難支援者が共有し、避難訓練も実施します。



「ならとも避難ぷらん」を策定し避難先を検討

災害時に重症心身障がい児者や医療的ケア児者の命を守るために、自家発電機や蓄電池をお持ちの事業所が、避難先や充電先として、仲間に加わっていただけるととてもありがたいです。

市民の皆さまには、避難所などの避難先で、優先的に医療機器の充電が必要な方がいることをご理解ください。

また災害時は、近くにお住まいの方から、声をかけていただくととても心強いです。ご協力よろしくお願いたします。



総合防災訓練に参加し、避難所での充電を体験



「共生型サービス」の推進に取り組んでいます。



「共生型サービス」とは、既に介護保険サービス又は障害福祉サービスのいずれかの指定を受けた事業所が、もう一方のサービスにおいても基本的に指定を受けることができるよう、平成30年度に設けられた制度です。

「共生型サービス」市内第1号！ 「セイワ習志野」で障害福祉サービスの提供が始まりました！

県の担当者、県内の先駆事業者、関心のある市内の介護保険事業者が集まり、共生型サービス勉強会を実施しました。

その後、市内第1号として、令和5年7月1日から介護保険事業所の「セイワ習志野」が県の指定を受け、障害福祉サービスの提供が始まっています。

今後も、市内で「共生型サービス」を実施する事業所が増え、ご本人やご家族の選択肢が広がることを期待しています。



セイワ習志野での見学時の様子

スタートまでに時間はかかりましたが、実現出来て、本当に良かったです。障がいについて勉強させていただき、今後の支援に繋げ、ご利用者様を増やしていきたいです。(セイワ習志野ご担当者の声)

自宅から近くの施設で、ありがたいです。障がいではなく、介護保険の施設ということで不安な面もありましたが、職員の方が積極的に色々聞いてくださるので、安心しました。(利用者ご家族の声)



セイワ習志野での説明時の様子

子育てショートあるある

わたしたちは、『きらっといっぽの会』(※♪)です。市のホームページに子育てエピソードを連載しています。子育ては障がいのある子もない子もいっしょです。ぜひごらん下さい！

『災害時はどうする？食べものの巻』

さまざまな障がいのため、災害時に体育館などに避難することができない我が子と、ライフラインの復旧まで自宅や車等で頑張ろうと思っています。小さいお子さんや、アレルギーのある方などにも共通する話かな～と思います。そんなお話です。

備蓄しているものはいろいろありますが、とくに非常食は準備が必要です。うちの場合カップ麺などの麺類が食べられません。普段から食べられそうなものを買って味見させて、これなら食べられる！…と、用意しておいても災害時の不安定な精神

状態では食べてくれないなんてこともあると思います。非常食の他に「いつものおやつ」的なものも準備しておくと思います(賞味期限長めのもの)。

また、その子の薬・救急セット・おむつ・おしりふき などなど、一般の避難グッズ一覧表には載っていないものは自分で表を作って付け足しています。うちは車椅子のパンク修理セットも便利ですし、液体ミルクやおもちゃなんかは小さいお子さんに必要かもしれませんね！



ホームページ



Instagram

(※♪)『きらっといっぽの会』は市民活動団体です。ホームページ、Instagramは左記QRコードよりご覧ください。



他のエピソードも公開中！このQRコードから習志野市のホームページをご覧ください。



【お問い合わせ】習志野市障がい者地域共生協議会（通称「ならとも」）

…障がい当事者の家族、福祉事業所、行政機関の職員等が集まり、障がい者の地域生活を支えるための活動や検討会を行っています。

事務局：習志野市 障がい福祉課 習志野市鷺沼2丁目1番1号
電話 047 (453) 9206 FAX 047 (453) 9309

ならとも 習志野

検索